

資料紹介 1. 弓道部の草創期 — 同好会の発足

同好会の発足

大西英輔氏に弓道部の萌芽期のことを伺おうと面会し当時の資料をお借りしました。お預りした当時の資料から、「同好会の発足」、「クラブ申請に向けて」、「クラブ昇格申請理由」の順に紹介していきたいと思います。

同好会は昭和36年6月24日に発足し、名簿上会員数は20人を数え、大西英輔さん(4年)、糟谷護さん(1年)の名も見えます。大西さんは卒論の研究が大変忙しく、その後研究室に残りますが教官が研究に対し非常に厳しい方で、弓を握ることなどできず、大学への提出書類の承認などは関与しましたが、部昇格への活動は出来なかったそうです。

実質的な同好会活動や部への昇格活動は、2年生の糟谷護さんと、大西さんの卒業と入れ代りに入部してきた井上勝さん及び山口修弘さんが中心となって行われました。

糟谷さんが書かれた同好会の結成経過報告を紹介します。

『 結成経過報告

昭和36年度1年機械工学科において同科糟谷護を中心に弓道同好会結成の機運があり、6月中旬、学内掲示によって同好会入会者を募ったところ、20数名同好者が集まったので、次に挙げる諸氏の協力を得て、昭和36年6月24日付けを以て弓道同好会を結成いたしました。

4年金属工学科 大西英輔

4年工業経営学科 本間正明

3年工業経営学科 大数加哲雄

その後千葉県弓道連盟理事長の及川勝己氏の指導を得、同時に全国学生弓道連盟及び千葉県弓道連盟に各々加盟しました。

更に、本校体育科片岡、相川両先生の助言を得て、射場の作成及び相川先生のご紹介により、学生弓道界の雄、早稲田大学の監督、稲垣源四郎先生にお会いし、学生弓道の現状、並びに今後の在り方を説明してもらいました。

現在の本同好会の活動状況の概況を説明しますと、

— 射場予定地(別紙掲載、略)の整備。(現在、古材木が多量に積まれている)
— 「弓道教本」(全日本弓道連盟発行)を購入し、その抜粋により新入会員用の教本及び会誌の作成。

— 他校との事務手続き。

— その他。

』

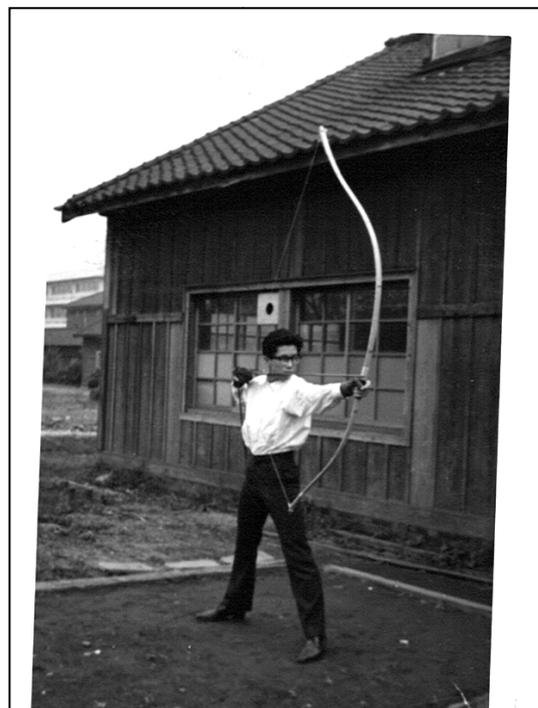
注) 稲垣源四郎先生は、相川量平先生の義理の兄弟に当り、後に範士。

注) 射場の位置：津田沼校地、

① 第1回目の射場（昭和37年）、当時の本館裏。

大学正門の背後に本館

第1回目の射場（屋舎線路側）



構内側からJR線路側に向かって舎屋を俯瞰、写真左側に本館、右側に正門



②第2回目の射場（昭和39年～40年）、正門の正面突き当り旧4号館の裏。

校舎は東西方向に配置され、南側に射場、その射場の東側に塚（あづち）。

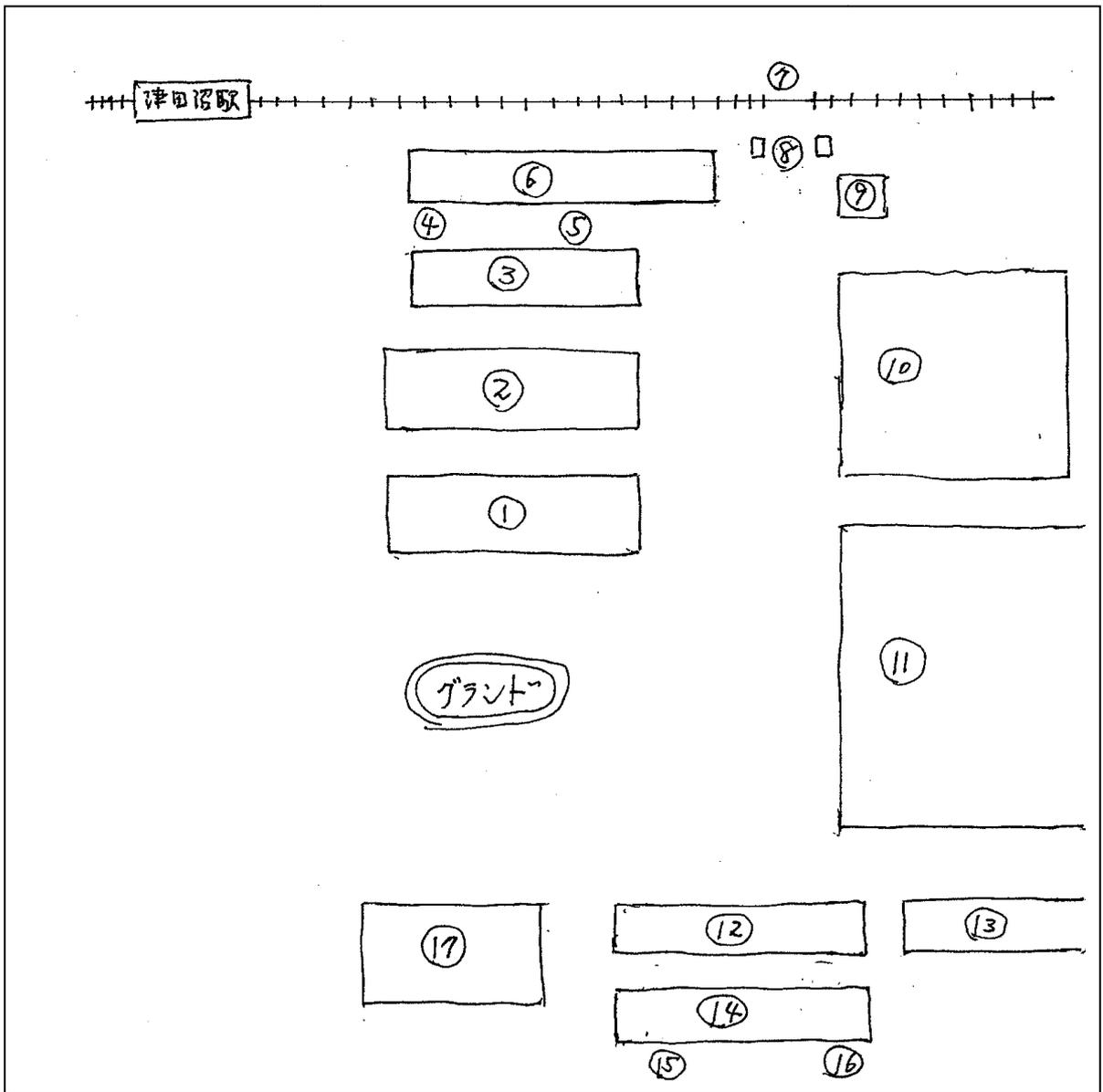


射位には、教壇状のものを配置。そこからの的に向かう。



その後、ここに昭和41年春から夏にかけ、5人立ちの間口の屋根付き道場を部員が協力して建てた。完成後間もなく、稲垣源四郎氏が早大弓道部員を引き連れて来、お祝の試合を行った。

平成25（2013）年9月26日 井田 晃記



昭和40年頃の校舎等の配置図の説明

- ① 新校舎（4階建てコンクリート造り）
・・・呼称・2号館（当時）
- ② 新校舎（4階建てコンクリート造り）
・・・呼称・3号館（当時）
- ③ 本館（2階建て木造）
- ④ 第1回目の射場（盛り土に土足）
- ⑤ 第1回目の安土（古い畳で代用）
- ⑥ 校舎（平屋木造）、部室棟
- ⑦ 踏切（線路北側に駅に通ずる道路）
- ⑧ 正門 ⑨ 守衛所

- ⑩ 新校舎（4階建てコンクリート造り）
・・・呼称・1号館（当時）
- ⑪ 講堂（呼称・アオキホール）
- ⑫ 校舎（2階建て木造）
- ⑬ 校舎（2階建て木造）
- ⑭ 校舎（2階建て木造、呼称・4号館）
- ⑮ 第2回目の射場
- ⑯ 第2回目の安土
- ⑰ 食堂

（井上勝さんの記憶による）